



株式会社リーチウェル様に対する 『114 サステナブルベーシックローン』の実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は2026年7月29日（水）、南大阪支店取引先 株式会社リーチウェル（大阪府藤井寺市 代表取締役 辻田 佑一）に対し『114 サステナブルベーシックローン（※1）』を実施しましたのでお知らせします。

今回、株式会社リーチウェルは、『売上原価に対する廃棄金額の削減率』を SPTs（※2）に決めました。当行はお客様の企業戦略に即した SPTs の達成状況に応じて貸出金利を優遇することで、目標達成に向けた動機付けを行い、サステナブル経営を後押しします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客様の SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※1）環境・社会課題の解決に資する取組みを、自社の実績を基準に目標値を設定し、達成状況に応じて貸出金利を優遇する当行独自のローン商品。第三者評価機関からのセカンドオピニオン取得が必要となる、サステナビリティ・リンク・ローンに比べ、多くの企業が取り組みやすい設定としている。

（※2）Sustainability Performance Targets（環境や社会課題に対しポジティブな影響をもたらす企業目標）

記

1. 企業の概要

会 社 名 株式会社リーチウェル
所 在 地 大阪府藤井寺市岡 1-6-11
業 種 保険調剤薬局

【サステナブルな取組み】

当社は、大阪府を拠点に保険調剤薬局 4 店舗を運営しております。迅速な調剤対応と投薬履歴の適切な管理により、安全で高品質なサービスを提供するとともに、「アドヒアランス向上」（※3）を支援し、信頼されるかかりつけ薬局を目指しています。

調剤薬局業界では、使用期限切れや過剰在庫による医薬品廃棄が課題となっています。『売上原価に対する廃棄金額の削減率』を SPTs に設定することで、廃棄削減への取組みを通じ、環境負荷の低減につとめてまいります。



（※3）患者さまが、自分で納得・理解した上で、治療や服薬をきちんと続けられるようにすること

2. SPTs について

売上原価に対する廃棄金額の削減率

以上